

復興へ絵馬に願い込め

東北思い参拝客ら奉納



東灘区

東日本大震災の被災地復興を願う気持ちをお届けしようと、東灘区御影郡家2の弓弦羽神社で23日、地元の子ともたちや参拝客が「希望」と書かれた特別な絵馬にメッセージを書き込み、同神社に奉納した。

澤田政泰宮司(57)が支部長を務める県神社庁神戸市支部は、津波で浸水した宮城県女川町の神社を拠点に被災者の支援活動を展開しており、その一環として企画。絵馬は、湯泉神社(北区)の別所敬介宮司が発案し、収益の一部が被災神社の復興などに充てられる。

弓弦羽神社は200個を用意。参拝客らが義援金と引き替えに受け取り、思い思いの言葉をつ

づつた。近くに住む小学4年の山口拓人君(10)は「東北の人ががんばれ!」と力強く書き込み、「大変だと思うけど、希望を持ってほしい」。家族で奉納した尼崎市の市村孔さん(46)は、長男が阪神・淡路大震災の1カ月前に生まれた。「断水して大変だったことを今でも思い出す。復興に向けて私たちにできることを頑張りたい」と話していた。

(今泉欣也)